

石川県における 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

日時：平成29年8月30日（水） 午前9時～

場所：輪島市河井地区

（輪島市文化会館周辺及び輪島市立河井小学校）

弾道ミサイル落下時の行動について、どのような情報が伝達され、どのような行動をとるべきかについて、県民の皆様の理解を促進するために、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施しました。



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、Jアラートを活用して、屋外スピーカーから特別なサイレン音とともにメッセージ流すほか、緊急速報メール等により、緊急情報をお知らせします。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

<Jアラートとは>

弾道ミサイル情報や津波警報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、市町村防災行政無線（同報系）等を自動起動することにより、国から住民の皆様まで瞬時に伝達するシステムです。

1 輪島市文化会館周辺での訓練の様子

＜屋外スピーカーからミサイル発射情報を聞いて、文化会館に避難する＞



＜文化会館内で窓のない場所に移動し、両手で頭を守る安全行動をとる＞



2 輪島市立河井小学校での訓練の様子

＜校内放送を聞いた児童が窓から離れ、机の下に身を隠す＞



＜避難行動終了後、児童全員が体育館に集合・点呼し、安否を確認する＞

